

## 4 費目別指数の動き

### (1) 食料指数

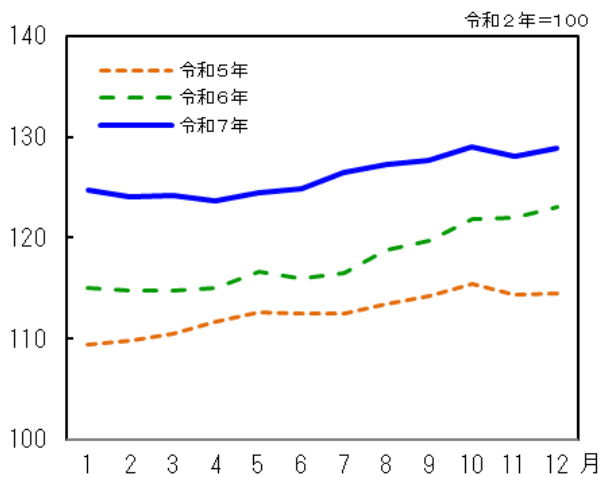
食料の年平均指数は126.1となり、前年に比べ7.0%の上昇となった。

食料のうち生鮮食品についてみると、生鮮魚介が1.2%の上昇、生鮮野菜が3.9%の上昇、生鮮果物が4.4%の上昇となり、生鮮食品全体では3.3%の上昇となった。

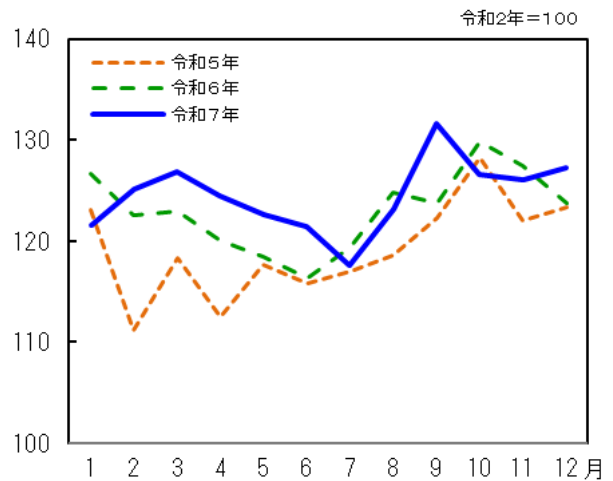
生鮮食品を除く食料の年平均指数は126.3となり、前年に比べ7.6%の上昇となった。

食料指数の内訳をみると、穀類は26.6%の上昇、魚介類は2.7%の上昇、肉類は8.7%の上昇、乳卵類は3.6%の上昇、野菜・海藻は5.4%の上昇、果物は4.6%の上昇、油脂・調味料は1.8%の上昇、菓子類は10.5%の上昇、調理食品は6.2%の上昇、飲料は5.5%の上昇、酒類は3.4%の上昇、外食は2.2%の上昇となった。

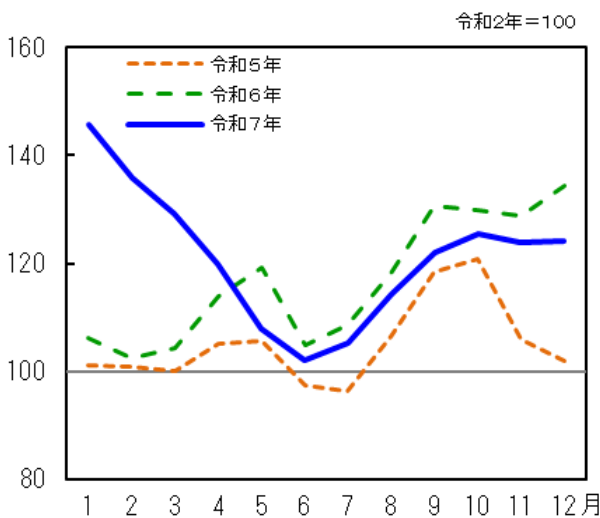
#### 食料指数



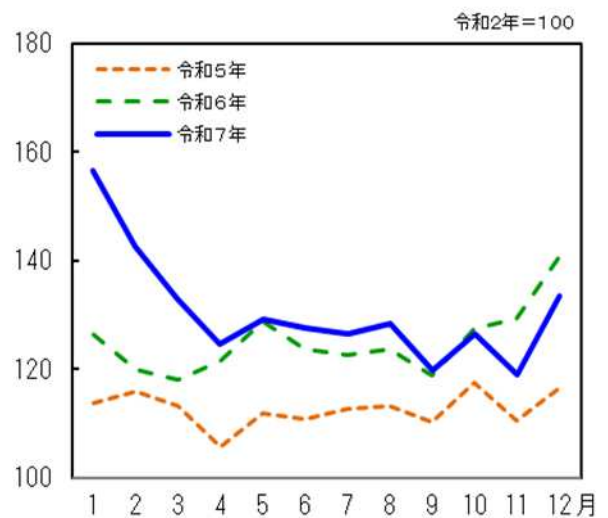
#### 生鮮魚介指数



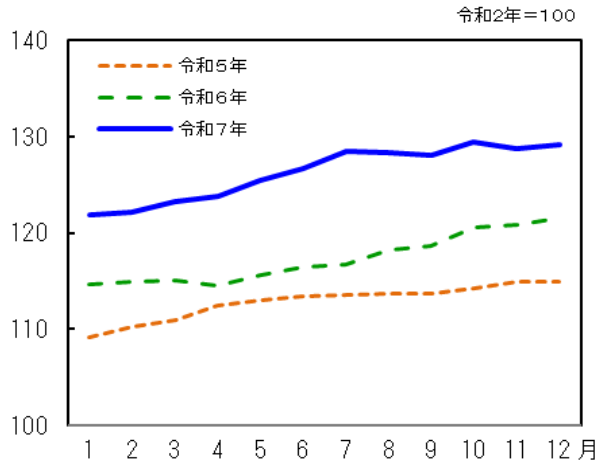
#### 生鮮野菜指数



#### 生鮮果物指数



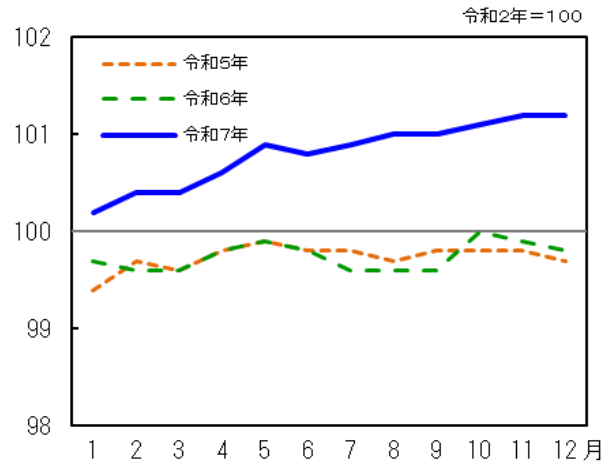
## 生鮮食品を除く食料指数



### (2) 住居指数

年平均指数は100.8となり、前年に比べ1.1%上昇となった。内訳をみると、家賃は0.7%の上昇、設備修繕・維持は3.7%の上昇となった。

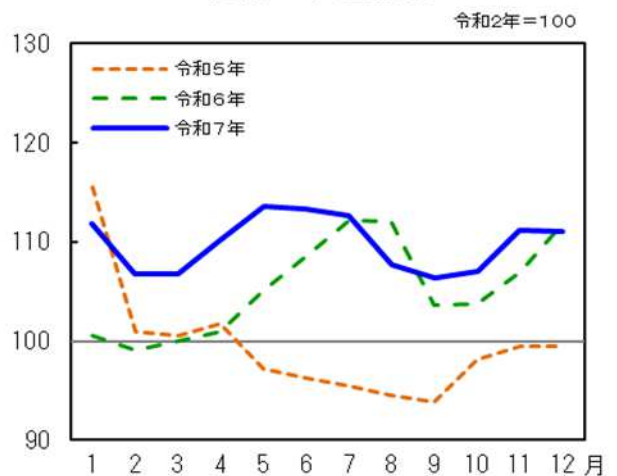
## 住居指数



### (3) 光熱・水道指数

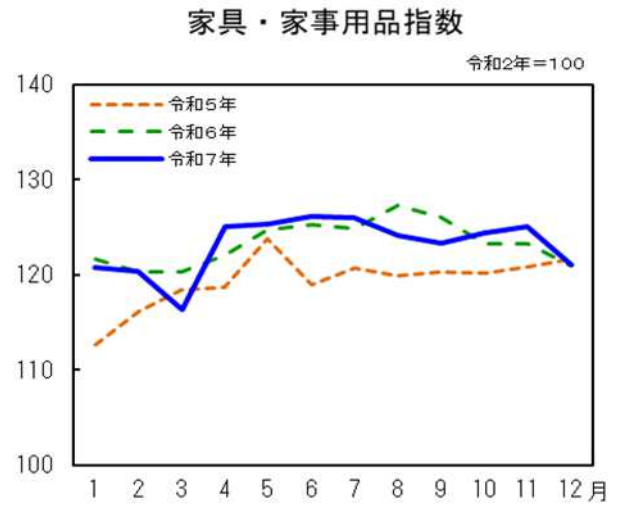
年平均指数は109.9となり、前年に比べ4.2%の上昇となった。内訳をみると、電気代は6.8%の上昇、ガス代は2.8%の上昇、他の光熱は2.8%の上昇、上下水道料は前年と同じ水準となった。

## 光熱・水道指数



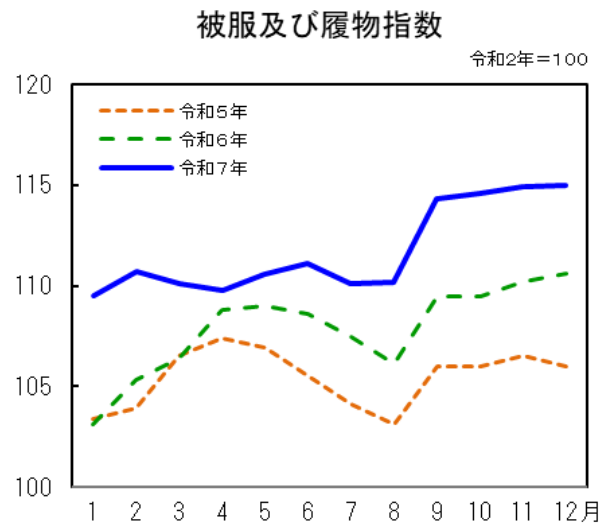
#### (4) 家具・家事用品指数

年平均指数は123.1となり、前年に比べ0.1%の下落となった。内訳をみると、家庭用耐久財は2.7%の下落、室内装備品は8.4%の下落、寝具類は3.4%の上昇、家事雑貨は3.2%の下落、家事用消耗品は2.1%の上昇、家事サービスは17.5%の上昇となった。



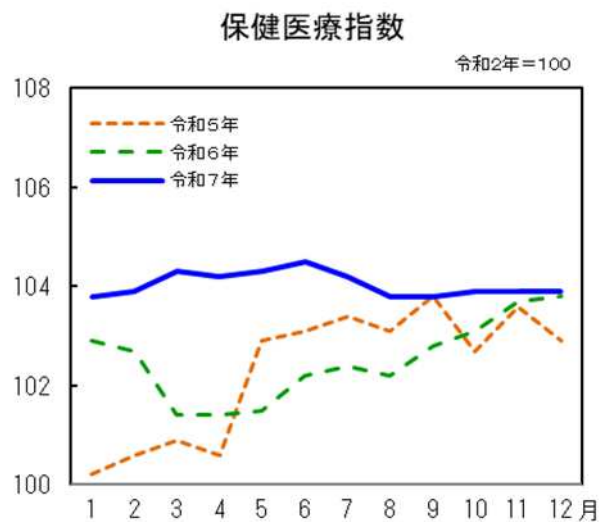
#### (5) 被服及び履物指数

年平均指数は111.7となり、前年に比べ3.6%の上昇となった。内訳をみると、衣料は3.7%の上昇、シャツ・セーター・下着類は2.3%の上昇、履物類は5.9%の上昇、他の被服は3.1%の上昇、被服関連サービスは5.4%の上昇となった。



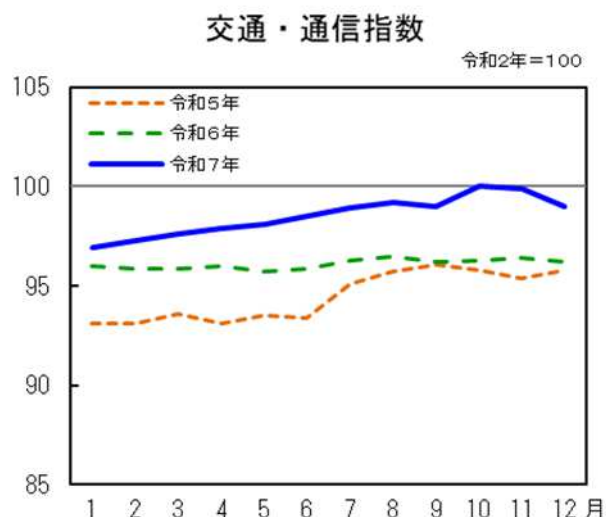
#### (6) 保健医療指数

年平均指数は104.0となり、前年に比べ1.5%の上昇となった。内訳をみると、医薬品・健康保持用摂取品は3.9%の上昇、保健医療用品・器具は0.3%の下落、保健医療サービスは0.6%の上昇となった。



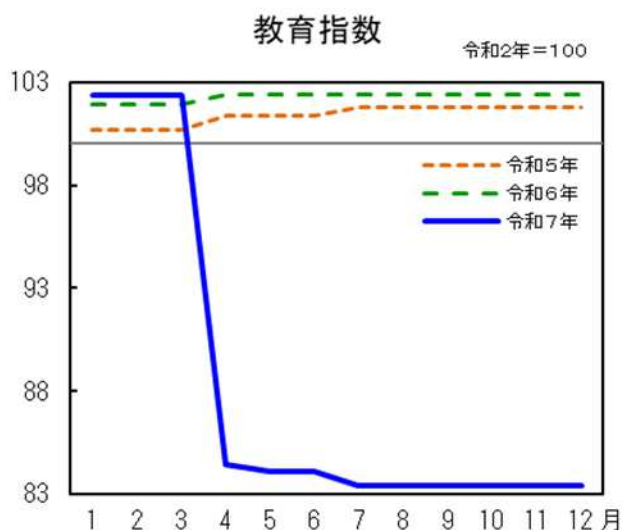
### (7) 交通・通信指数

年平均指数は 98.5 となり、前年に比べ 2.5% の上昇となった。内訳をみると、交通は 2.5% の上昇、自動車等関係費は 1.9% の上昇、通信は 4.3% の上昇となった。



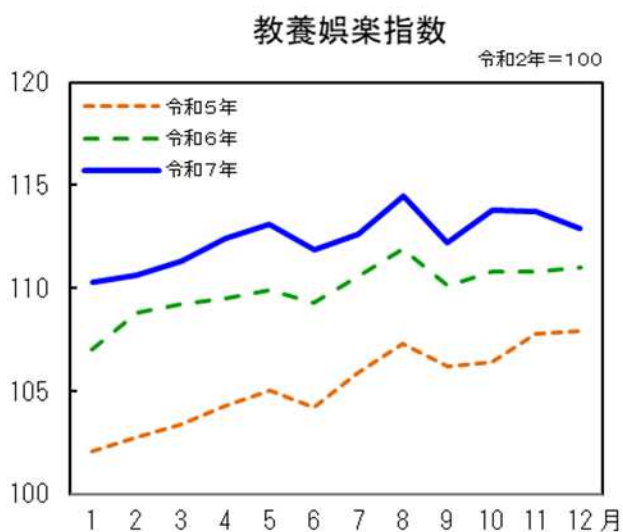
### (8) 教育指数

年平均指数は 88.4 となり、前年に比べ 13.6% の下落となった。内訳をみると、授業料等は 21.2% の下落、教科書・学習参考教材は 1.0% の上昇、補習教育は 1.5% の上昇となった。



### (9) 教養娯楽指数

年平均指数は 112.4 となり、前年に比べ 2.3% の上昇となった。内訳をみると、教養娯楽用耐久財は 0.8% の下落、教養娯楽用品は 4.0% の上昇、書籍・他の印刷物は 2.9% の上昇、教養娯楽サービスは 2.0% の上昇となった。



## (10) 諸雑費指数

年平均指数は107.5%となり、前年に比べ2.5%の上昇となった。内訳をみると、理美容サービスは0.7%の上昇、理美容用品は3.5%の上昇、身の回り用品は2.4%の上昇、たばこは0.5%の上昇、他の諸雑費は3.1%の上昇となった。

